

アルプラス・アリット戸口サッシ 多本引き連窓ポール取付け用 窓手摺り組立施工マニュアル

■ 取付方法

1) 補助桿の取付け <図-1参照>

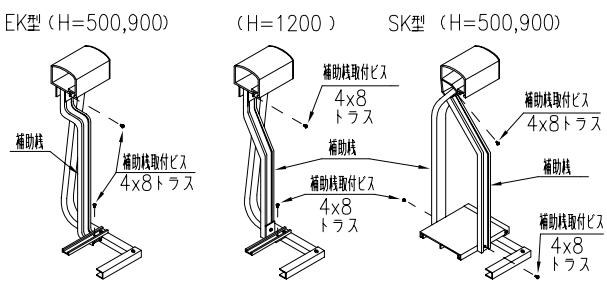
窓手摺り本体に補助桿を取付けて下さい。

2) ポールの取付け 連結部 <図-2参照>

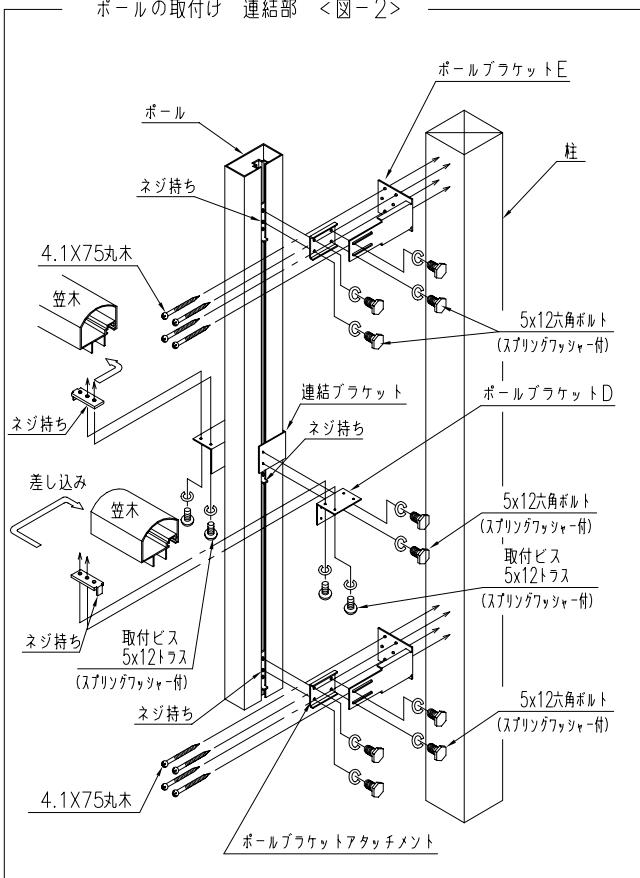
- a) ポールの中間部にポールブラケットDと連結ブラケットを仮止めして下さい。
- b) ポールの上・下端にポールブラケットE及びポールブラケットアタッチメントを固定して下さい。
- c) ポールを柱に固定して下さい。

補助桿の取付け <図-1>

(安全の為必ず取付けて下さい)



ポールの取付け 連結部 <図-2>



3) ポールの取付け 戸口側 <図-3参照>

a) ポールの中間部にポールブラケットDを仮止めして下さい。

b) ポールの上・下端にポールブラケットE及びポールブラケットアタッチメントを固定して下さい。

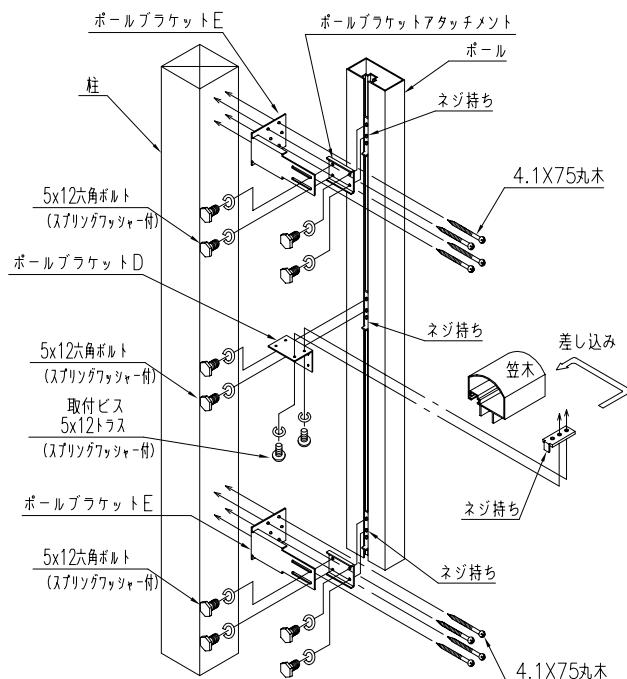
c) ポールを柱に固定して下さい。

■ 部品箱明細

* ●印に色記号が入ります。

姿図	部品名称	部品No.	●8TLB03
	ポールブラケット D	NLB-113	2
	ポールブラケット E	NLB-114	4
	連結ブラケット	NEB-207	1
	戸当りブラケット	EB-528	1
	取付け材	AB-205	20
	ネジ持ち	NBN-41	10
	取付ビス 5X12トラス (スプリングワッシャー付)	MTB5X12	8
	取付ビス 4X8トラス (補助桿取付用)	3TB4X8	12
	取付ビス 5X12六角ボルト (スプリングワッシャー付)	BH05X012	20
	取付ビス 4X10トラス (スプリングワッシャー付)	3TB4X10	3
	締めナット	BP-1859	1
	ポールブラケットアタッチメント	EB-2391	4
	取付ビス 4.1X75丸木	WR41X75	16
	六角レンチ	NETC-95	1
	取付説明書	MN-1487	1

ポールの取付け 戸口側 <図-3>



アルミラクラス。アリッソ戸サッシ 多本引き連窓ポール取付け 用 窓手摺り組立施工マニュアル

■ 取付方法

4) 戸当りブラケットの取付け <図-4参照>

戸当りノッチの所定位置（B寸法の位置）にφ4.5の下孔をあけ、戸当りの横の隙間から下孔の裏側に縦枠ブラケットネジ持ちを入れ、戸当りブラケットを固定してください。

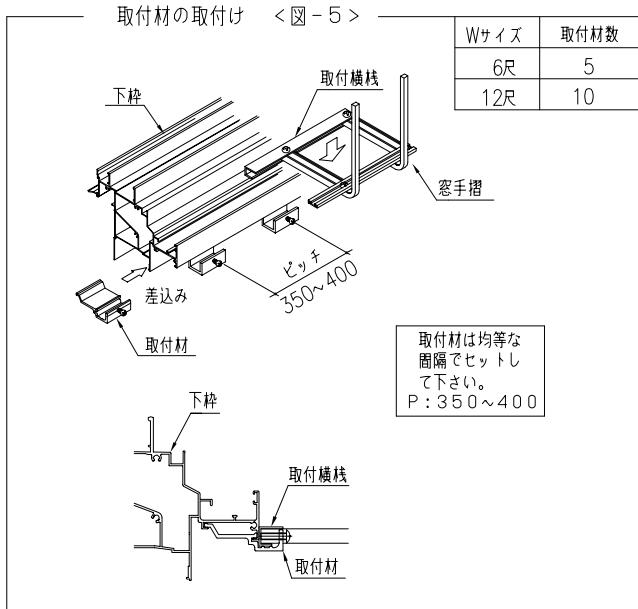
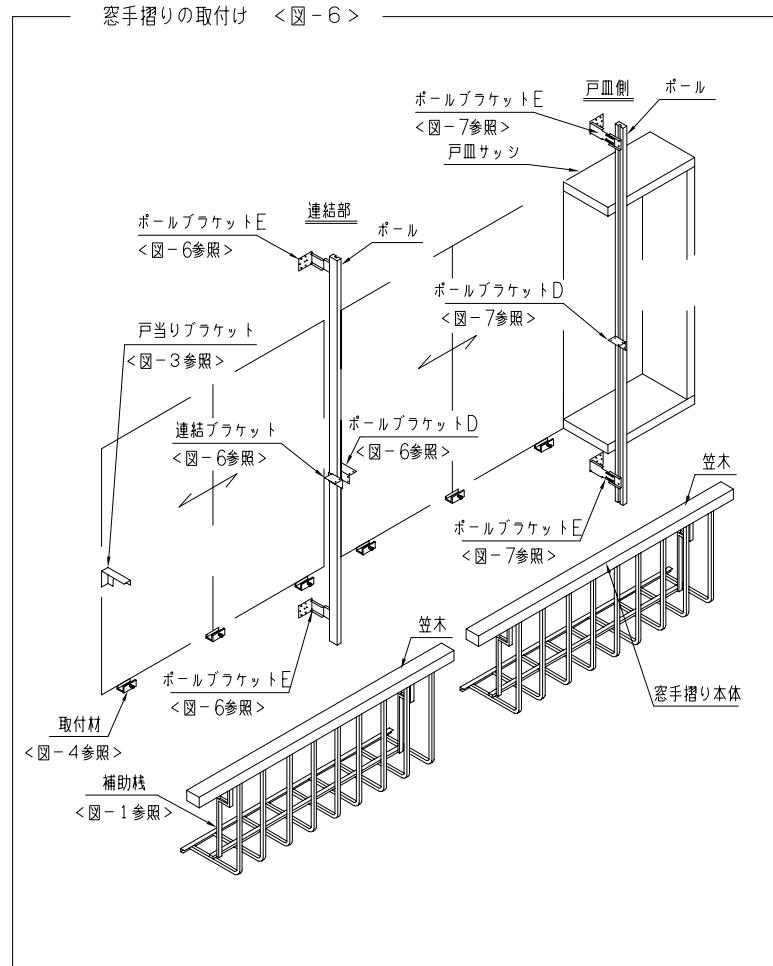
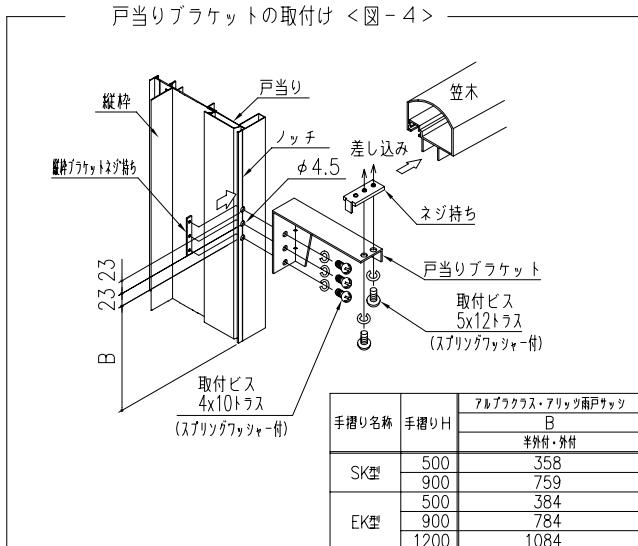
5) 取付材の取付け <図-5参照>

取付材を下枠の端部よりスライドさせ、取付材のピッチが均等になる様にセットして下さい。（ピッチ＝350～400）

3) 窓手摺りの取付け <図-6 参照>

- ②窓手摺り本体の幅方向の位置を調整後、笠木とポールブラケットD
<図-2><図-3>及び笠木と連結ブラケット<図-2>を固定
して下さい。また笠木と戸当りブラケット<図-4>も同様に固定
して下さい。

③取付材のビスを締込み取付横桿を固定して下さい。<図-5>



木造住宅用アルミ製窓手すり 施工の手引き

■ 禁止事項ならびにご注意

- ⚠ 他社製アルミサッシの枠には、直付けすることはできませんので軸体付けで施工してください。
- ⚠ 木造住宅用アルミ製手すりは、そのままではRC・鉄骨造ALC外壁には施工できません。
- ⚠ 窓手すりの切り詰め以外の改造は絶対にしないでください。

■ 窓手すりの組み立て・取り付け上の留意点

- 建築図面等から柱・間柱・窓台などの位置・寸法・外装材・下地材の寸法を確認してください。
- 付属の部品・ねじ、または指定された部品・ねじ類を必ず使用してください。
- 組立て説明書にしたがって組み立ててください。特にねじ類は確実に締め付けてください。
- ブラケットは柱位置に確実に取付けてください。
- 取付けの木ねじの柱へのねじ込み長さは、30mm以上になるようにしてください。（図-A参照）
- 木ねじの取付け位置は、柱の端部にならないよう、また外装材の端部にならないようにしてください。（図-B参照）

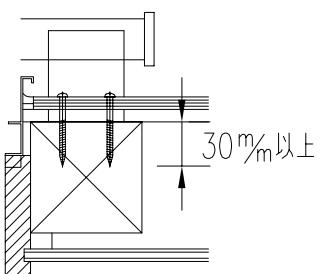


図-A

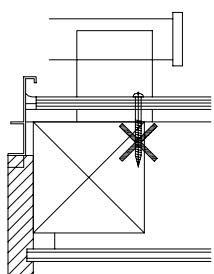


図-B

外装材や下地材が厚い場合には、付属の木ねじでは、ねじ込み長さが不足する場合があります。
このような場合には、メーカーのカタログ・説明書を確認するか、メーカーに問い合わせてください。

- ねじ止めは確実に締め付けてください。（図-C参照）
- 外壁に下穴を明ける場合、柱まで穴を明けないようにしてください。ねじの支持力が激減します。（図-D参照）
- 外装材に明けた穴には窓手すりブラケットをねじ止めする際、コーキング材を充填して漏水を防止してください。（図-E参照）

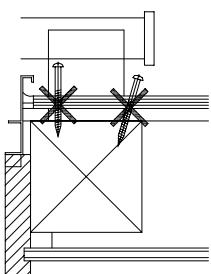


図-C

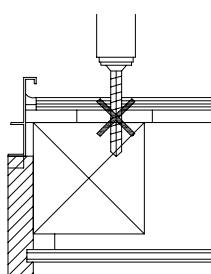


図-D

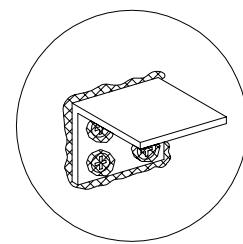


図-E

- サイディング通気工法の場合、窓手すりの取付け位置に胴縁があることを確認してください。（図-F参照）
- 発泡材を充填または貼り合わせた金属サイディングの場合には、その上から取付けないでください。（図-G参照）
サイディングがくぼんで意匠を損なったり、窓手すりのガタツキの原因になります。

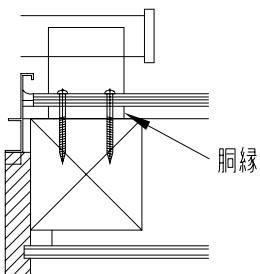


図-F

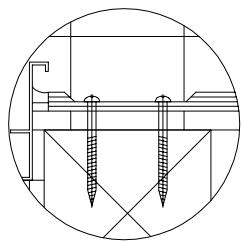


図-G

あらかじめ胴縁下地材を入れておくように
建築施工業者と相談しておいてください。

- サッシ枠への取付けが可能な製品の場合は、説明書に従い正しく施工してください。
- 施工後、各部の締め忘れや緩みがないか、よく確認してください。
- 窓内側から、笠木を強くゆすり、ガタツキや緩みがないかよく確認してください。
- 検査される人は安全に十分ご注意ください。